

あなたの声を、
つなぐ、叶える。

札幌市議会議員、札幌市議会自民党議員会幹事長

むらまつ

やすひろ 叶啓

政務調査
だより
北区

安全・安心なまちづくりへ

会派幹事長として市政課題に正面から。

ごあいさつ

日頃より私の活動に対しましてご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年9月、令和8年度予算編成に向けた政策提言書を会派幹事長として秋元市長へ手交し、200項目以上にわたる内容をしっかり受けとめていただきました。市政発展、諸課題の解決につなげるため、引き続き努力してまいります。

また、個人的ニュースとしては昨年6月に保護司を拝命いたしました。これまで議員として安全・安心なまちづくりに取り組んでまいりました。

たが、今後は保護司としても立ち直りを目指す方が地域社会の一員として再出発できるよう、微力ではありますが頑張っています。

地域の皆さまの声を市政に反映させ、誰もが安心して暮らせる「人にやさしいまちづくり」を全力で進めています。引き続きお力添えをお願い申し上げます。

札幌市議会議員 村松 叶啓

札幌市議会議員
やすひろ
むらまつ叶啓政務調査室

T002-8022 札幌市北区篠路2条7丁目5-22
TEL: (011) 774-6913 FAX: (011) 788-3920
E-mail: info@m-muramatsu.com



財政市民委員会

市民協働・電子町内会などを視察

昨年8月19～21日、財政市民委員会の行政視察のため、香川県と岡山県を訪問しました。高松市では市民協働の取り組みや地域コミュニティ協議会について調査。香川県などが3年に一度開催している「瀬戸内国際芸術祭2025」の会場では、イベントの成果と課題について関係者に話を伺いました。また、岡山市ではインターネットを利用して、地域情報を発信する「電子町内会」の取り組みを視察しました。得られた知見を市政活動に活かしてまいります。



高松市にて



岡山市にて



札幌市議会議員、札幌市議会自民党議員会幹事長 村松叶啓のグループ写真



市政 報告

第3回定例会で代表質問を実施 市政課題について市長と堂々と論戦

昨年9月29日、第3回定例会において会派を代表して質問に立たせていただきました。全21項目にわたり市政課題についての秋元克広市長らの見解をいただきました。



質疑内容(抜粋)

▶令和6年度決算を踏まえた対応について

質問 物価高騰が続くから、しっかりとメリハリをつけた攻めの取り組みを行い、強固な財政基盤を築くべきだ。決算に対する評価と今後の対応を伺う。

答弁 経済波及効果が強く見込める事業への投資を厳選して行うなど、将来世代への負担を残さぬようにこれまで以上に事業の「選択と集中」を行っていく。

▶小児科初期救急医療体制について

質問 市内の小児科医から現行の休日当番体制を維持するのは困難との声が出ており、新たに休日診療の拠点的な施設を令和8年4月に設置する方向で審議が進められている。対応を急ぐ必要があると考えるが、今後の対応を伺う。

答弁 医療機関に要請し、臨時の初期診療施設を令和7年10月から設置する。持続可能な医療体制の確保に向け、救急医療の適正受診についての周知啓発を強化していく。

▶雪対策審議会での意見の受け止めと今後の進め方について

質問 市は持続可能な雪対策の実現のため、専門家や除雪事業者、市民などで構成する「雪対策審議会」での意見をどう受け止め、どう検討を進めていくのか。

答弁 雪対策の課題について意見をいただき、大きな視点での検討が必要と認識した。作業手法や予算面についてより専門的な検討を行うため、小委員会を設置して議論していく。

▶緊急統制制度新設に伴う取り組み

質問 緊急統制制度が令和7年9月に施行されたが、市民の安全・安心確保のための体制づくりにどう取り組むのか。

答弁 役割分担等をまとめたマニュアルを作成し、関係機関を含め共有した。技術向上を図るための訓練や勉強会を定期的に実施するなど、体制強化に取り組んでいく。



市民の皆さまと力を合わせて 新たな札幌の活力ある未来を創造

私たち札幌市議会自由民主党議員会は、令和7年12月東京を訪れ、中央省庁や国会議員への要望活動を実施しました。物価高騰対策やヒグマ対策、除排雪など、市民の暮らしに直結する重要課題への支援強化を求めるとともに、丘珠空港の滑走路延伸を含めた交通政策の推進、GX推進、国土強靱化、子育て環境の整備、医療・介護・福祉の充実、スポーツ振興に必要な予算の確保を訴えました。札幌市議会の最大会派として所属議員25人が一丸となって国内外から人・モノ・情報が集まる活力ある街の実現に挑戦し、札幌の未来への責任をしっかりと果たします。



12月12日、市議団が中央要請を行い、市政課題に対する支援強化を求めた



子ども政策拡充で子育て世帯を応援

増え続ける児童虐待に対応するため、札幌市は令和7年9月、市内2か所目となる児童相談所を白石区に開設しました。新たに誕生した「札幌市東部児童相談所」は痛ましい虐待事件を受けて自由民主党議員会が開設を要望してきたもので、白石、厚別、豊平、清田の4区を管轄します。

このほか、急な発熱時などに子どもを預ける「病児・病後児保育のオンライン予約開始」、病气や育児疲れのため養育が困難となった際に一時的に子どもを預けられる「里親ショートステイ」の全市展開を進めるなど、子育てにやさしい街に向けて支援を拡充してまいります。



持続可能な除排雪に向け試験施工を実施

札幌市では将来的な税収減や除雪作業の担い手不足の可能性を考慮し、持続可能な雪対策の実現に向けた議論を始めました。今シーズンは地域の不公平感の解消などを目的として、「パートナーシップ排雪制度」や「市民助成トラック制度」を含めた生活道路の除排雪方法の見直しを検討するため、厚別区と清田区で試験施工を実施いたします。この試験施工は、これまでパートナーシップ排雪を利用していなかった地域も含め排雪を行うため、従来よりも雪を多く残しますが、市が費用を全額負担するというものです。



自由民主党議員会では安全で快適な冬の生活に欠かせない除排雪の強化に向けて活動が続けてきましたが、よりよい除排雪体制の構築に向けて引き続き取り組んでまいります。

物価高騰対策で活力ある経済を実現

自由民主党議員会では長引く原材料・エネルギー価格高騰に苦しむ市民や事業者の負担を軽減するため、政府与党や札幌市に対し、物価高騰対策の拡充を訴えてきました。引き続き、物価上昇を上回る賃上げにより活力ある強い経済が実現できるよう全力で取り組んでまいります。

●食料品の物価高騰に対する特別支援

市民一人あたり**3,000円**を支給

●ガソリン・電気・ガス料金の負担軽減

ガソリン暫定税率廃止で1世帯あたり年間**1万2,000円**程度値下げ

※燃費15km/Lで月間約200km走行した場合

電気・ガス料金 3か月で合計**7,000円**程度値下げ ※電気使用量の大きい1〜3月に支援

低圧契約 **▲4.5円**/kWh 高圧契約 **▲2.3円**/kWh 都市ガス **▲18円**/㎡

●子育て応援手当(仮称)

0歳から高校3年生までの**子ども一人あたり2万円**を支給

ヒグマ対策の強化で安全・安心を確保

令和7年は各地でヒグマの出没が過去最多となり、ヒグマ警報が発令された札幌市西区では、市街地で市町村の判断によりクマを駆除する「緊急銃猟」が道内で初めて実施されました。札幌市では猟友会や警察などの関係機関と連携して対策の強化を進めていますが、人の生活圏への出没防止対策の充実、同時多発的出没や緊急銃猟に備えた体制の構築、ハンターの技術向上・育成のための環境整備、個体数の適正管理、学校・登下校時の安全確保など課題も多いのが現状です。

私たち自由民主党議員会としても、政府のクマ被害対策パッケージを踏まえ、市民の皆さまの安全・安心を守ってまいります。

